

第45回

富士市民大学

後期講演会

講師プロフィール

第1回 | 9.12(金)



東京大学准教授

こいすみゆう
小泉 悠

ロシア・ウクライナ戦争と日本の安全保障

早稲田大学大学院政治学研究科(修士課程)修了後、民間企業に勤務。その後、外務省国際情報統括官組織専門分析員や、ロシア科学アカデミー世界経済国際関係研究所客員研究員、公益財団法人未来工学研究所研究員等を歴任。東京大学先端科学技術研究センターでは特任助教を経て、2023年12月から准教授に就任。ロシアの軍事・安全保障政策を専門としている。2025年、第25回正論新風賞を受賞された。「オホーツク核要塞」や「現代ロシアの軍事戦略」等、多くの書籍も執筆されている。

第2回 | 9.25(木)



俳優・朗読座主宰

こんのみさこ
紺野美沙子

自分らしく健康で豊かに生きる

1980年、慶應義塾大学在学中にNHK連続テレビ小説『虹を織る』のヒロイン役で人気を博す。テレビ・映画・舞台で活躍する一方、1998年、国連開発計画親善大使の任命を受け、国際協力の分野でも27年に渡り活動した。2010年秋から「紺野美沙子の朗読座」を主宰。NHKエフエム「音楽遊覧飛行」案内役を担当。元祖スー女としても知られ横綱審議委員である。

第3回 | 10.2(木)



作家

あらまたひろし
荒俣 宏

人生を楽しんだ偉人・奇人

慶應大学卒業後、10年間のサラリーマン生活のち独立。百科事典の編集助手をしながら書いた小説『帝都物語』がベストセラーになり日本SF大賞受賞、『世界大博物図鑑』ではサンタリー学芸賞を受賞した。多分野にわたり精力的に執筆活動を続け、その著書、訳書は350冊あまりに上る。愛知万博グローバルハウスナビゲーターや、内閣府「感どうする経済館」プロデューサー等を歴任し、現在は京都国際マンガミュージアム館長や、世界遺産熊野本宮館名誉館長等を務める傍ら、テレビにも多く出演し、コメンテーターとしても活躍。近著に、『ハゲの文化史』、『荒俣宏妖怪探偵団・ニッポン見聞録』等がある。

第4回 | 10.9(木)



宇宙工学者・工学博士

かわぐちじゅんいちろう
川口淳一郎

やれる理由こそが着想を生む
～「はやぶさ」、「はやぶさ2」を完遂させた力～

1978年京都大学工学部卒業後、東京大学大学院工学系研究科航空学専攻博士課程を修了。旧文部省宇宙科学研究所に助手として着任し、2000年には教授に就任。ハレー彗星探査機「さきがけ」、工学実験衛星「ひてん」、火星探査機「のぞみ」などのミッションに携わり、小惑星探査機「はやぶさ」では、プロジェクトマネージャを務めた。東北大学大学院工学系研究科機械系航空宇宙工学専攻特任教授を歴任し、現在は、オーストラリア国立大学 機械計算科学系 教授と国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所名誉教授を兼任されている。

第5回 | 10.22(水)



医師

いしはらにいな
石原 新菜

一生健康でいるための健康管理のススメ

長崎県生まれ。小学2年生までスイスで過ごし、その後、高校卒業まで静岡県伊東市で育つ。2006年帝京大学医学部卒業後、同大学病院で2年間の研修医を経て、現在は都内で父・石原結實氏が院長を務める「イシハラクリニック」で副院長を務めている。クリニックでの診療の他、講演、テレビ、ラジオ、執筆活動等、幅広い分野で活躍中。13万部を超えるベストセラーとなつた「病気にならない蒸しショウガ健康法」をはじめとする著書は、韓国やベトナム等、複数の国でも翻訳・出版されている。

第6回 | 10.28(火)



慶應義塾大学大学院教授

きしひろゆき
岸 博幸

日本経済のゆくえ～世の中の流れ～

一橋大学経済学部及びコロンビア大学ビジネススクールを卒業。1986年4月 通商産業省(現経済産業省)に入省し、産業政策、IT政策、通商政策、エネルギー政策等を担当。その後、経済財政政策担当大臣や郵政民営化担当大臣、総務大臣などの政務秘書官を歴任。2006年9月に経済産業省を退官され、慶應義塾大学DMC総合研究機構助教授に就任。08年から同大学の大学院メディアデザイン研究科教授に就任され、現在に至る。また、エイベックス・グループホールディングス株式会社顧問やボリシー・ウォッチ・ジャパン取締役も兼任されている。